

2016 年 12 月 1 日

指導者養成講座 報告書

【概要】

主 催 : 神戸ウイングスタジアム株式会社

主 管 : NPO法人SCIX
(特定非営利活動法人スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス機構)

後 援 : 神戸市教育委員会
神戸市スポーツ教育協会
兵庫県ラグビー協会

開催日時 : 2016 年 11 月 27 日(日)13:00～15:00

司 会 : SCIX事務局 武藤 規夫 氏

指導者 : コベルコスティーラーズ選手 5 名
佐藤貴志選手・正面健司選手・中濱寛造選手・
山下楽平選手・イーリー ニコラス選手
SCIX ラグビークラブ

参加者 : 小学生 4～6 年生 80 名

場 所 : 雨天のためノエビアスタジアム内

プログラム : 13:00 開始
15:00 終了

■第 1 部

『ラグビーを体験しよう！タッチフット大会』

対 象 : 小学生 4～6 年生

指導者 : コベルコスティーラーズ選手 5 名
佐藤貴志選手・正面健司選手・中濱寛造選手・
山下楽平選手・イーリー ニコラス選手
SCIX ラグビークラブ

趣 旨 : タッチフット” は初心者でもできる、ラグビーの基本がたっぷりのボール
ゲーム。ラグビー日本代表も練習で行っているタッチフットを、
スティーラーズと SCIX の選手たちが指導し、ラグビーの魅力に触れると
同時に、経験者においては競技力向上を図る。

内 容 :

コベルコスティーラーズの選手 5 名（佐藤貴志選手・正面健司選手・中濱寛造選手・山下楽平選手・イーリー ニコラス選手）と、SCIX ラグビークラブメンバーによる指導のもと、タッチフット大会を行いました。



まずは、参加者全員に 6 年生は黄色、5 年生は青色、4 年生は赤色と学年毎に色分けした SCIXT シャツを配布。開会式では SCIX 事務局・武藤が挨拶をし、指導を担当するスティーラーズメンバーの紹介がありました。

開会式終了後は学年毎に分かれてウォーミングアップをしました。黄色の 6 年生は佐藤選手、青色の 5 年生は中濱選手と山下選手、赤色の 4 年生は正面選手とニコラ

イ選手、とスティーラーズの選手と SCIX のメンバーたちが分かれて各学年の指導を担当。

各学年、ランニングや、ボールを使ってパス練習をするなどして身体を温めました。佐藤選手率いる黄色の 6 年生のアップでは、SCIX メンバーの先導でユニークなランニングを行い、3 人組を作らせて組体操をするなど、「遊び」感覚も交えたアップで参加者も楽しそうに取り組んでいました。整列の際には、一番遅いチームのリーダー（SCIX メンバー）に罰ゲームとしてダッシュを課すことで、ラグビーの「all for one, one for all」の精神を伝えるという場面も見られました。



ウォーミングアップの後は、スティーラーズの選手たちからタッチフットのルールについての説明が行われ、その後いよいよタッチフット大会がスタート。各学年 4 チーム 2 コートに分かれて試合を行いました。



20 分間のファーストゲーム時間内に、各チーム 2 試合ずつ。審判はスティーラーズの選手という、参加者や試合を見守る保護者たちも、その贅沢ぶりにテンションは益々上がっている様子。観覧の保護者たちからは「(ラグビーやサッカーの国際試合やトップチームが試合をする) こんな立派な場所でやらせてもらえるなんて有り難いねえ」などの声も聞かれました。

2 試合目は各学年の勝者同士、敗者同士が対戦。各チーム 2 試合終了後は、再度学年毎で、試合を受けての練習を行いました。このセカンド練習でのパス練習の際には、正面選手の「knock on! やり直し〜！」などの声に周囲からは笑いが漏れる場面や、上手くパスが繋がると拍手が起こるなど楽しいムードの中、会は進行していきました。

その後セカンドゲームとして各チームさらに 2 試合ずつ行い、最後の勝者同士の戦いでは優勝がかかっていることもあり、かなりの盛り上がりを見せました。



全試合を終え、閉会式では、各学年の全勝チーム＝優勝チームを発表。優勝チームでは、スティーラーズ選手とのじゃんけん大会が行われ、勝者各 1 名にラグビーボール、敗者には W 杯の記念バッジが贈呈されました。



最後は恒例の参加者、スタッフ全員での記念撮影をし、第一部は閉幕しました。

